

区画整理だより

事業の進捗状況及び今年度の予定

《 整備スケジュールを見直しました 》

今年の4月に、愛媛県から車両基地・貨物駅の移転時期について、これまでの平成27年度末から平成31年度中に延期するとの発表がありました。

これを受け、松山市が進めている土地区画整理事業についても、整備スケジュールの見直しを行いました。

【新しい整備スケジュール】

第1期区域 平成24～28年度

これまでとおり平成28年度の完成を目指します。

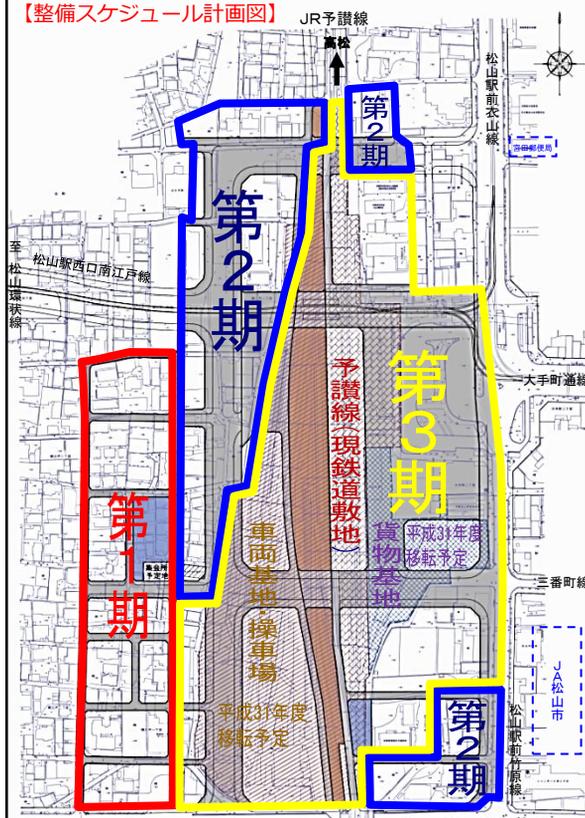
第2期区域 平成26～31年度

現在の車両基地・貨物駅およびJR予讃線高架工事の影響を受けない範囲で、基地等が移転完了する平成31年度の完成を目指します。

第3期区域 平成29～32年度

第1期・第2期以外の範囲で、これまでとおり鉄道高架事業の完了時期に合わせ、平成32年度の完成を目指します。

【整備スケジュール計画図】



《 第1期工事について (整備状況および今年度の予定) 》

平成26年度工事完成

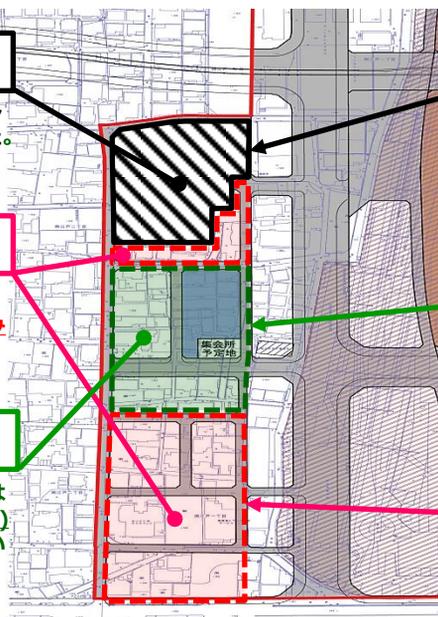
※工事に御協力いただきまして、ありがとうございました。

平成27年度工事予定箇所

※平成26年度中に着手し、現在実施している工事を含みます。

平成28年度工事予定箇所

※区域内の地権者の皆様には平成27年度末(H28年2月末)までの移転にご協力をお願いします。



平成25～26年度に工事を行い、整備が完了した土地を地権者の方へお返しし、一部では建物が建ち始めています。



建物等の解体も順調に進み、今年度は埋蔵文化財の本堀調査を行い、来年度に道路築造や宅地造成の工事を行う予定です。



現在、建物等の基礎撤去や雨水管理設工を行っており、引き続き、道路築造及び宅地造成工事を行います。

『松山駅周辺地区車両基地跡地利用に関する基本構想』 を策定しました(平成27年5月)

松山駅周辺整備事業により移転する車両基地の跡地については、松山市が広く市民の活用を図るため取得することとしています。この度、その利用に関して、基本的な理念・方針・機能などを明らかにした基本構想を策定しました。

【基本構想の理念・方針等】

基本理念

まつやま情報文化交流拠点

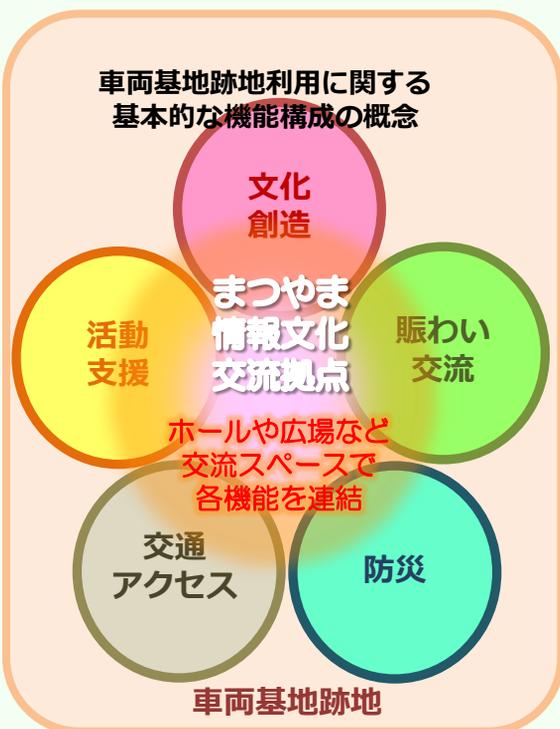
～だんだんつながるいいよかん・松山らしさのすべてはココから！～

広域交通結節点であるJR松山駅に近接する車両基地跡地は、市民が主体となって21世紀のまちづくりにふさわしい様々な人や情報、文化がつながり刺激しあう、これまでにないわくわくするような新たな松山らしさをココから創造・発信する拠点となることをめざします。

基本方針

- ① 駅前立地を活かし、松山の情報文化を体験できる
- ② 独自の文化やお接待の心など、松山の「新しい顔」として「松山らしさ」を情報発信する
- ③ 子どもから高齢者まで、多様な活動や暮らしをサポートする
- ④ 気軽に集い憩える「交流スペース」で各機能を連結する

機能構成



交流スペースとしての『ホール』

- ホールは、市民が行う様々な文化活動の鑑賞、発表、練習の場であり、**文化創造**や**活動支援**に欠かせないもの
- イベント開催による周辺への賑わいや、災害時の避難場所としての活用など、ホールは**賑わい交流**や**防災**の役割も担う。



交流スペースとしての『広場』

- 広場は、散策や休憩をしたり、知り合いと会話を交わす憩いの場であり、イベント会場としても活用でき、**賑わい交流**に欠かせないもの
- 災害時の避難場所としての**防災**の役割も担う。

★基本構想案への市民意見公募では、38名から189件の御意見をいただきました。今後は、基本計画に向けての検討を行っていきます。

愛媛県からのお知らせ

《事業の進捗状況》

愛媛県が施行しているJR松山駅付近連続立体交差事業では、現在、新車両基地・貨物駅（伊予市、松前町）、及び行き違い線（松山市土居田町、保免、市坪）の工事を本格的に実施しており、また、高架区間（松山市美沢～空港通）では、土地所有者の皆様のご協力をいただきながら用地買収を進めているところです。

今年度も、引き続き、各工事や用地買収等を進めて参ります。

なお、今年度末には、新車両基地・貨物駅の地下をアンダーパスする「南北道路」の開通を予定しています。

（高架区間の用地買収）

引き続き駅南北の用地買収を進めます。



（行き違い線の石手川橋梁）

今後は左右の橋梁上部工を施工します。



（新車両基地・貨物駅の南北道路）

今年度末の供用に向け工事を進めます。



○は写真位置

第17回土地区画整理審議会の開催

平成27年5月21日に、選挙後の新しい委員による第17回審議会が開催され、新しい会長に渡部英夫委員が選出され、副会長に日本通運株式会社委員と東晴雄委員が選出されました。また、区画整理事業評価員の選任について同意しました。

そのほか、事業の進捗状況等について事務局より説明しました。

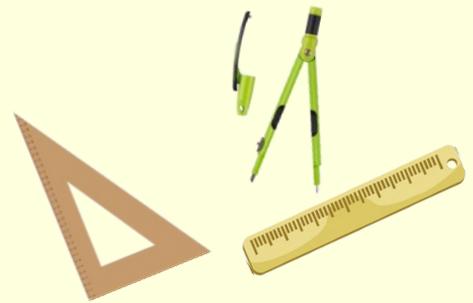
松山駅周辺土地区画整理事業評価員の変更について

土地区画整理事業を適正に実施するため、土地区画整理法第65条1項の規定により、審議会の同意を得て、土地等の評価について経験を有する方等を評価員として、選任しています。

このたび、評価員の変更について、審議会の同意が得られましたので、森洋一さんを評価員に選任しました。

《松山駅周辺土地区画整理事業評価員》

阿部 弘治(あべ こうじ)	不動産鑑定士
藤本 孝明(ふじもとたかあき)	不動産鑑定士
森 洋一(もり よういち)	銀行員 (新任)
西浦 郁子(にしうら いくこ)	一級建築士
石田 みか(いしだ みか)	税理士



説明会・相談所の開催について

《説明会》

今年度は、6月3日と6月4日の2回実施し、あわせて44人の皆さんにご参加いただきました。説明会では、鉄道高架事業、土地区画整理事業の進捗状況や駅周辺のまちづくりについて説明し、ご意見をいただきました。

主なご意見

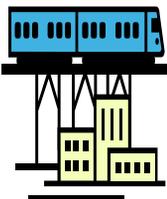
- Q 新車両基地移転が延期されたが、土地区画整理事業へどんな影響があるか。
- A 県とも協議し、地権者の皆さんへの影響が最小限になるように工事の計画を一部見直しました。

《相談所》

今年度は、6月6日から6月9日の4日間開催し、あわせて12人の方にご利用いただきました。

主な内容

- 全体の事業スケジュール、それぞれの地権者の方の移転スケジュールについて
- 車両基地跡地の検討について



★松山駅周辺整備課のHP★

<http://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/kakukaichiran/tosiseibibu/matsuyamaekisyuhen.html>

随時更新していますので、ぜひチェックしてみてください。

